

# 長崎県幼児教育センターだより

🌸 No. 26 🌸 2026. 4. 7 🌸



## ～令和8年度もよろしくお願ひします！～

今年の3月は例年より高温の日が多く、桜の開花は例年より早めで、先週末に見ごろを迎えたところもあり、新年度のスタートを祝っているようです。各園でも子どもたちが登園し、元気な声が響き渡っているのではないのでしょうか。

さて、長崎県幼児教育センターは4年目を迎えました。別添で、こども未来課の新体制を掲載しております。どうぞご確認ください。今年度も県内で育つ全ての子どものため、質の高い幼児教育・保育について共に考え、よりよい保育環境づくりを目指し、各種研修の充実を図ってまいりたいと思います。センター、課職員一同、精一杯努めてまいりますのでご協力よろしくお願ひいたします。

《長崎県のめざす乳幼児期の子ども像》

## 生きるねっこの丈夫な子

長崎県では、子どもたちの生きる力となる  
「こころのねっこ」「からだのねっこ」「まなびのねっこ」  
を乳幼児期にみんなですぐに育みます。



## ～新体制になりました～

室野センター長の後任として、高田 敏彦（たかだ としひこ）が着任しました。

### 🌸 着任者より一言 🌸

センター長 高田 敏彦

長崎大学教育学部附属幼稚園から参りました。11年ぶりにこども未来課で働くことに、楽しみであるとともにセンター長としての責任の重さを感じております。これまでの経験を活かしつつ、長崎県の幼児教育・保育発展のために尽力してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

室野は課長補佐として、係長の小林、幼児教育アドバイザーの岩崎、森川、緒方につきましては、引き続き幼児教育センターで仕事をします。福井はこども未来課内の別業務担当になり、土本主事が幼児教育センターの一員になります。今年度も訪問支援等で皆さまにお会いできるのを楽しみにしております。

## ～子供の読書活動優秀実践校・園・図書館・団体(個人)表彰～

子供の読書活動優秀実践園として壱岐市から推薦いただいた、壱岐市立霞翠幼稚園が文部科学大臣表彰を受けました。

霞翠幼稚園では、令和6年度に長崎県が策定した「第五次長崎県子ども読書活動推進計画」の方針・方向性を園の取組に積極的に生かし、園全体で高い意識をもち、様々な取組を通して、幼児の読書を推進しています。具体的には、ホールへの書架の設置や季節の本コーナー設置によって、子どもがいつでも絵本を手にとることができるような環境づくりをしています。また、定期的な大型絵本や紙芝居の読み語り、地域読書ボランティア団体との連携、日常の保育での子どもの主体的な本の活用、帰りの会での担任による読み語りや預かり保育担当者による読み語りなどについて、職員で共通理解を図りながら、読書推進に取り組んでいます。さらに、生活発表会の劇等に絵本の内容を取り入れたり、制作活動の前に、制作に関係のある絵本を読み語ったりするなど、絵本の世界を遊びや制作、行事へ広げる取組やファミリー遠足で地域図書館を訪れ、親子で本に親しむ取組も行っています。

県内の多くの園でも幼児の読書を推進する取組をなさっていると思いますが、ぜひ参考にされてください。最後になりましたが、壱岐市立霞翠幼稚園のみなさん、受賞おめでとうございます。

## ～生命(いのち)の安全教育～

昨年度、長崎県教育庁児童生徒支援課が取り組んでいる「生命(いのち)の安全教育推進事業」に、多くの園から実践事例の提供をいただきました。ありがとうございました。いただいた中から、日野保育園と長崎大学教育学部附属幼稚園の実践事例が、児童生徒支援課が公開するWebページの実践事例集に掲載されることになりました。

両園とも、命の誕生や命の大切さ、妊娠から出産までの過程など、生命が誕生することの神秘について話をしたり、プライベートゾーンを大切にすることや嫌なときには嫌だとはっきり断れることの大切さなどについて学んだりしており、保護者への啓発にも取り組んでおられました。

子どもの自殺が増加傾向にあり、子どもの性被害も高止まりしている昨今にあって、生命(いのち)の安全教育は大変大切な取組だと思えます。各園でも同様の取組を行っていらっしゃると思いますが、引き続きよろしく願いいたします。

文責：小林 真実

### ～独り言～

4月はどこの施設でも、環境が変化すると思います。子どもの視点で見ると、保育室、先生や友達、新入園児にとってはすべての人やもの、起こる事柄がすべて新しいです。大人の場合も、新しい職場で働いたり新しい同僚が加わったりします。新しい環境の中で過ごすことは、多少のストレスを感じると思いますが、子どもたちにとっては尚のこと。泣いたり怒ったり等情緒不安定な言動を当たり前と思って共感したり寄り添ったりすることで、次第に安定していくことでしょう。子どもも大人も、新しい環境に一日も早く慣れて安定した生活を送れることを願っています。

長崎県幼児教育センター長 高田敏彦